

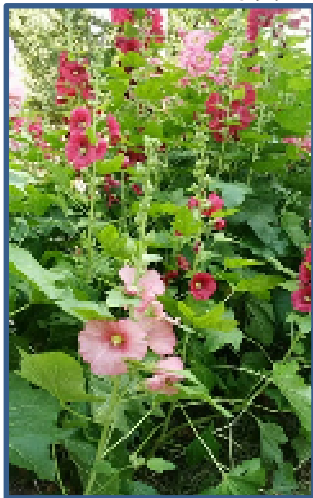
善福寺川周辺の樹木と野草

～～野草シリーズ～～

林 静 (S45 経)

「葵」という名前は、女の子の名前ランキングで、2008年に第1位となり、その後も常に上位を占めている人気のある名前です。これは、アオイは、空に向かってまっすぐ伸びて、とてもきれいな大きな花を咲かせることなどから、名前としても好まれたからと言われています。野草シリーズ第4回第1弾は、このアオイを中心に、「背の高い花—アオイ特集」をお贈りしたいと思います。

(写真1)



(写真1)は、「**タチアオイ (立葵)**」です。善福寺川周辺では、6～8月頃、直径10cm程の、赤・ピンク・白・黄など色とりどりの花を咲かせます。茎は空に向かってまっすぐ2m位伸び、沢山の気品のある見事な花を付けます。とても強く生命力があり、土手の石垣のところでも、石と石の間に根を伸ばし、集中豪雨で増水した水流にも耐え、立派な花が咲きます。花壇にも好んで植えられています。

善福寺川では、西田端橋上流右岸や、屋倉橋上流左岸の花壇などで多く見られます。

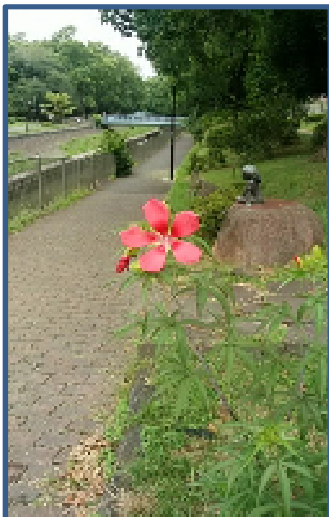
(写真2)

右の花は、「**ゼニアオイ (銭葵)**」

です。江戸時代には、もう栽培されていたようで、昔からよく見かけますよね。小さいころ、隣の家の庭に咲いているこの花の蜜を求め、アゲハ蝶がよくやってきて、蝶々取りをした記憶がよみがえってきます。6～7月頃、高さ1m位の茎に、直径5センチほどの紫色の花をたくさん咲かせます。この草も強く、秋の終わりまで、しぶとく咲いているのを、時に見ることができます。大成橋や成園橋あたりでよく見ることができます。



(写真3)



左の花は、「**モミジアオイ (紅葉葵)**」です。背丈1～2m、直径15cm程の大きな深紅色の5枚花弁の花がとても印象的です。8～9月ごろ、秋の空に向かって、まさに気高さを見せびらかすように凛として咲いています。民家の庭に咲いているのが多いですが、善福寺川では、尾崎橋のそばに毎年花を咲かせている株があります。

(写真4)

以上、3種の「葵」をご紹介しましたが、葵に負けず劣らず晩秋の空に気高く咲き誇る花があります。それが「コダチダリア（木立ダリア）」(写真4)、別称「コウテイダリア（皇帝ダリア）」です。背丈は4mに達することもあり、その先に淡紫色の大きな花をいくつも付けます。11～12月にかけて、尾崎橋右岸下流のテニスコートの前や交通公園にこの花が咲いているのを見ることができます。



(訂正)

前回の野草シリーズ第3回第1弾「よく見かける草花 - 3」に掲載しました(写真5)の、キバナコスモスの花にとまる蝶を、「アカタテハ」と紹介しましたが、正しくは、「ツマグロヒョウモンの雄」でした。会員の笠原さんからご指摘をいただきました。笠原さんは、私の植物のお師匠さんの一人です。有難うございました。